

■左右田喜一郎 経済学者で銀行頭取。"左右田哲学"で<大正デモクラシー>を代表、<金融恐慌>で倒産し憤死。
そうだきちろう
明治14年政変1881＝ 横浜の両替商の長男に生れる。

帝国憲法発布1889＝ 8歳：
帝国議会始・1890＝ 9歳：

日清戦争始・1894＝13歳：
日清戦争終・1895＝14歳：_父金作が{左右田銀行}を設立。

子規句歌革新1898＝17歳：横浜商業学校を卒業し、_東京高等商学校(一橋大)に入学、
Bushidou・・1899＝18歳：

本科を経て専攻科に進み、_福田徳三の指導下に経済学を学ぶ。

日露戦争始・1904＝23歳：_卒業後、渡英してケンブリッジ大学に入学したが、
日露戦争終・1905＝24歳：_ドイツに移って、フライブルグ大学に入学。
_経済学に加え、哲学をリッケルトに師事して多大の影響を受ける。

アヲヲ 創刊・1908＝27歳：_経済学の指導教授に従って、チュービンゲン大学に転学、
伊藤博文暗殺1909＝28歳：*国家学博士号を取得するとともに、学位論文「貨幣と価値」(独文)を公開。

大逆事件判決1911＝30歳：_「経済法則の論理的性質」(独文)を出版、ベルリン大学・ハイデルベルグ大学でも学び、
明治天皇没・1912＝31歳：フランスへ移動して、パリ大学・コレージュド＝フランスで学んだ後、
大正政変・・1913＝32歳：_帰国。母校東京高商の講師に就任、
_新カント派の哲学に立って文化価値主義の経済哲学説を開き、
21ヶ条要求・1915＝34歳：*父の死去により左右田銀行を継いで頭取となる。
民本主義・・1916＝35歳：_法学博士、
ロシア革命・1917＝36歳：*それまでの論文を集録した「経済哲学の諸問題」を公開し、学界に大きな反響を呼び起こす。

ベルサイユ条約・1919＝38歳：黎明会に参加し、文化主義を唱道し、大正デモクラシーに理念的支柱を与えた。
大暴落・・・1920＝39歳：京大の講師を委嘱され、神奈川県の労働者厚生施設横浜社会館の館長に就任。_銀行取付け騒ぎが起り、
原敬首相暗殺1921＝40歳：_経営への配慮が求められるなかも、思索を続け、それらをまとめて、
水平社結成・1922＝41歳：_「文化価値と極限概念」を出版、哲学界の注目を集める。横浜社会館に付設の横浜社会問題研究所所長、

護憲三派圧勝1924＝43歳：_在独中の二著書に対し帝国学士院賞。
治安維持法・1925＝44歳：貴族院多額納税議員に勅選される。
円本時代始・1926＝45歳：_「西田哲学の方法について」を発表して"西田哲学"を批判するなどしたが、
金融恐慌・・1927＝46歳：*昭和恐慌の勃発で左右田銀行の倒産にみまわれ、一切の公職を辞した直後に、病を得て没した。